

2021年度入試

入学試験問題集

【東京成徳大学 応用心理学部 臨床心理学科】



東京成徳大学 東京成徳短期大学

目 次

総合型選抜 9月入試 小論文	1
総合型選抜 10月入試 小論文	2
総合型選抜 12月入試 小論文	4
学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試） 小論文	5
一般選抜 D日程入試 総合型問題（学部学科別）	6
出題意図・解答例	8

「一般選抜 A 日程・B 日程・C 日程」の問題は、
「2021 年度入試問題集 一般選抜 A 日程・
B 日程・C 日程（全学部・学科共通）」に掲載
しています。

●総合型選抜 9月入試

【小論文】（試験時間：60分）

下記の文章を読んで、あなたが大切にしている言葉について800字以内で答えなさい。その際、なぜ大切なのかについて、その言葉と出会う前と後のあなたの心の動きを交えて記載すること。

クラスメートやメル友だけが友達ではない。「言葉を友人に持とう」と言ったのは寺山修司だった。「言葉の肩をたたくことはできないし、言葉と握手することもできない。だが、言葉にも言いようのない、旧友のなつかしさがあるものである」と。

小欄左上の「折々のことば」(*)にちなみ、本社などが、大切にしている言葉とそのエピソードを中学・高校生に募ったら、1万6千超が届いた。数千と踏んでいた担当者は、若い世代と言葉との熱い「友情」に驚いたそうだ。名言や有名人の言葉ばかりではない。日常で出会った言葉が目立ち、優秀作が21日の紙面で紹介された。その一つ「暑くもないし、寒くもないし、ちょうどいい気温だから春かなあ」は中3の須志田千尋さんが寄せた。認知症の祖母の言葉という。本当は秋なのだが、祖母は分からない。でも肌で季節を感じている祖母はすてきだ、と彼女は思う。人の存在の深みから届いたような言葉と響き合うその感性もすてきである。

掲載外の言葉もいい。「花は咲くときにはがんばらない。ゆるめるだけ」(中3)は担任からの誕生日カードに書かれていた。「お前、一年前の悩み言える？」(中2)は塾の先生。人は成長する。今の悩みはささいなことだと。応募の一枚一枚をめくりながら、時を忘れた。即効薬のように力を与える言葉がある。浸(し)みた雨が泉となって湧くように、時間をかけて心に届く言葉もある。どこか人との出会いに似ている。言葉を友人に持ちたい。

(* 出題者注：この問題文に「折々のことば」は記載されていません。)

出典：2016年1月27日 朝日新聞(天声人語) 言葉を友人に持とう

●総合型選抜 10月入試

【小論文】（試験時間：60分）

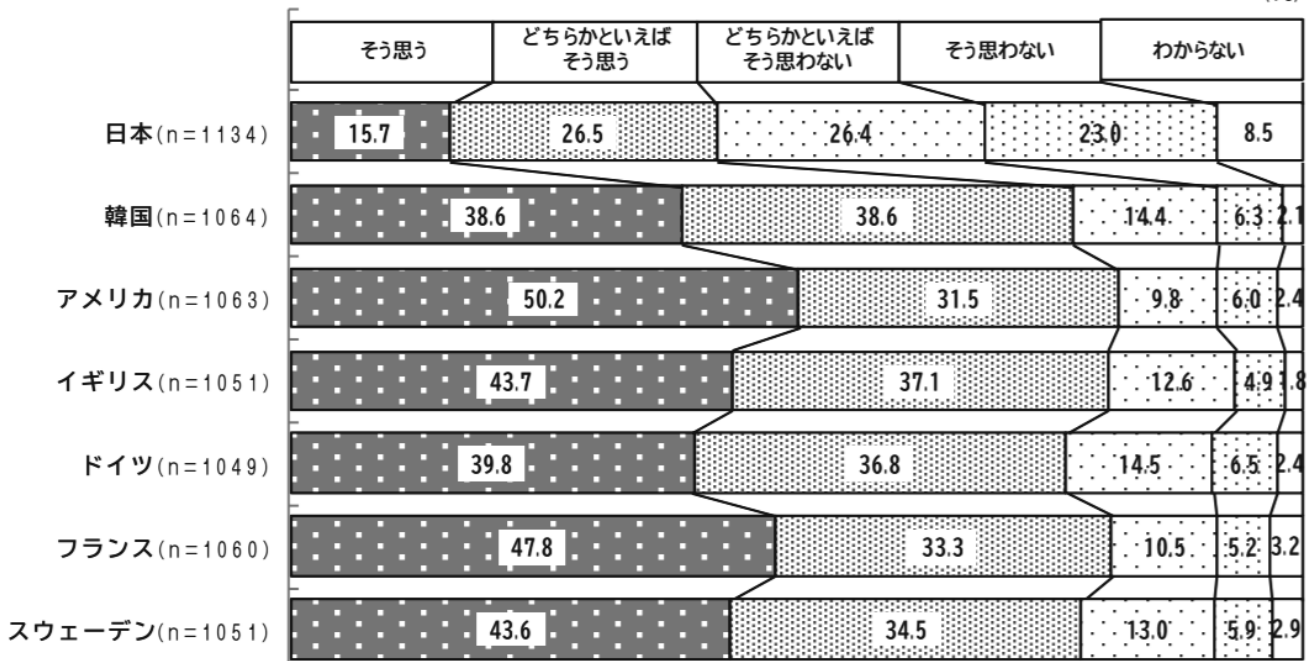
次ページ以降の3つのグラフは、内閣府による日本の若者の意識と諸外国の若者の意識を比較した調査結果の一部です。満13歳から満29歳までの男女を対象とし、それぞれの質問に対し、「そう思う」から「そう思わない」までの回答をした人の割合が示されています。

- (1) 3つのグラフから、諸外国と比べた日本の若者の意識の特徴を複数述べてください。
- (2) 以上で述べた特徴から、日本の若者にはどのような悩みや心の問題が生じやすくなると考えられますか。あなたの考えを述べてください。

以上の問いに対して、(1)・(2)を合わせて計800字以内で解答用紙に記述してください。なお、(1)と(2)の解答が区別できるように、それぞれの開始部分には「(1)」「(2)」を明記してください。

●他人に迷惑をかけなければ、何をしようと個人の自由だ。

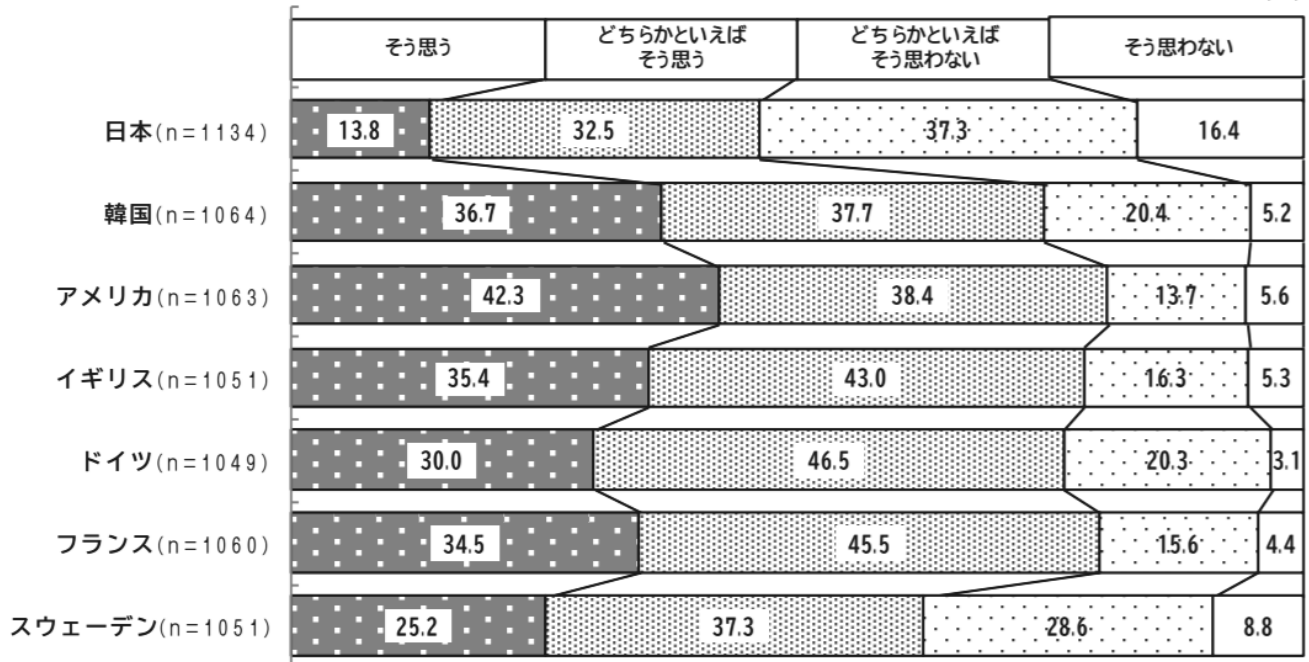
(%)



注) nは、回答者の人数を表します。

●自分の考えをはっきり相手に伝えることができる。

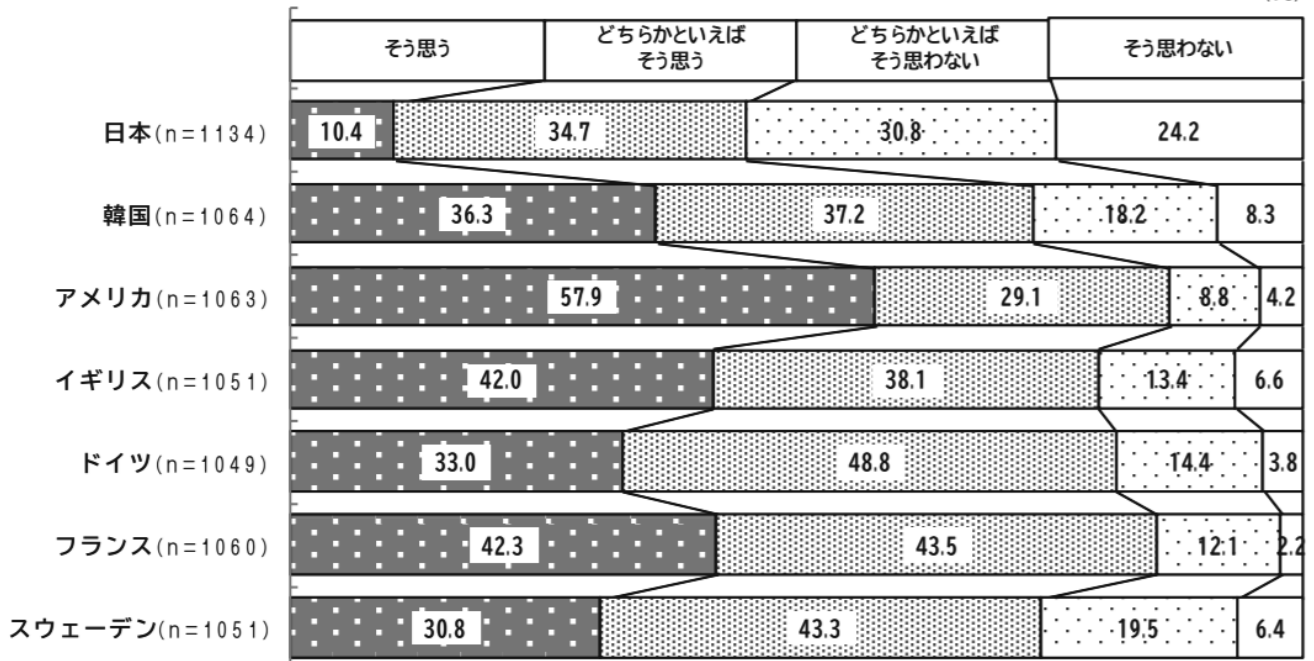
(%)



注) nは、回答者の人数を表します。

●私は、自分自身に満足している。

(%)



注) nは、回答者の人数を表します。

※出典：内閣府（2018）。「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成30年度）」
内閣府ホームページ
<https://www8.cao.go.jp/youth/kenkyu/ishiki/h30/pdf-index.html>

●総合型選抜 12月入試

【小論文】（試験時間：60分）

以下の文章を読んで、文章後に書かれた問いに答えなさい。

なにかの利益を得るために、他者に従ったり、甘えたり、こびを売ったりするような行動は、人間だけでなく動物も普通にするのであるが、動物の場合は、その場限りのもので、「今、相手を怒らせるのはまずい」という危機感に根ざしているのだろう。これに対し、人間の場合には、少なからず、将来的な展望を持っている。すなわち、「ここで相手を良い気分させておけば、きっといつか自分に有利なことがある」という予測能力があるため、動物よりは高等な想像力に基づいている。

成長し、社会との関りを深めるほど、「自分」は想像上の他者の認識による位置づけに重点を置く割合が高くなる。田舎で家族だけで暮らしていて、他人と会うことが滅多にない、というような極端に社会と没交渉な生活をすれば、こうした感覚はやや遅れるかもしれないが、一般には、十代にはほとんどの人間が同じような「他者による自分」感覚を持つのではないか。つまり、子供から大人になる途中で、「自分」は、自分が意識しているだけのものではなく、他者から認識されている（と想像する）イメージが大部分を占めるようになる。

このとき「他者」が、大勢であるか、生活圏内の数人であるか、もしかしたら、家族だけなのか、あるいは特別に意識する（大好きか、大嫌いかの）特定の個人だったり、それとも実在しないまったくの想像上の人物だったり、範囲も程度もさまざまだとは思うけれど、他者の意識を通して想像した自分であることは共通している。

出典：森 博嗣（2011）. 自分探しと楽しさについて. 集英社新書

- (1) 文中にある「他者による自分」感覚とは何を意味していますか、説明しなさい。
- (2) あなたの経験、あるいは、見聞きしたエピソードをふまえて、その「他者による自分」感覚が与える、自分への良い影響、悪い影響について、あなたの考えを述べなさい。

以上の(1)と(2)を合わせて、解答用紙に計800字以内でまとめなさい。両者を区別しやすくするため、それぞれの開始部分には「(1)」と「(2)」を明記すること。

●学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）

【小論文】（試験問題：60分）

以下の文章を読んで問に答えなさい。

「天声人語」ダビンチ没後500年

「三角形から正方形を切り出す」「毎週土曜は風呂に行く」「キツツキの舌を描写する」。レオナルド・ダビンチは、そんな「やることリスト」を毎日のように書いた▼今春刊行された米作家アイザックソンのダビンチ伝（文芸春秋）によれば、それら手書きの遺稿は7千枚も現存する。ダビンチは学校教育をほとんど受けていない。洞窟で化石探しに熱中するなど、幼いころから好奇心は旺盛。「教育よりも経験の方が大切だ」と書いている▼評伝を読んで意外に感じたのは、途中で投げ出してしまった研究の多いこと。鳥の羽根を調べ、人間を飛翔（ひしょう）させる人工翼の設計に熱中した。ヘリコプターや戦車の原型となる構想も温めたが、一つとして実現していない。大都市に運河を走らせる事業にも意欲を燃やしたが、計画倒れに終わった▼「教えてくれ、教えてくれ。私に一つでもなしたことがあるなら……。完成したものがあるなら」。悲痛な嘆きを書き残した。絵画にも未完成作が多く、現存する作品は「モナ・リザ」「最後の晩餐（ばんさん）」など20点に満たない▼後世の人物像には幅があるものの、どうやら飽きっぽく、ものごとを投げ出す傾向があったのはたしからしい。怠け癖というより、ダビンチならではの、ずぬけた完璧主義のなせるわざかもしれない▼ともあれ、およそ近寄りがたい天才だと思いついていたが、もろもろ欠点もあったとわかると、凡人にはわかに親近感を覚える。今月は没後500年という節目の月である。

出典：2019年5月16日 朝日新聞（天声人語）ダビンチ没後500年

- (1) 文中にある「ずぬけた完璧主義」というのはどのような意味で用いられているのかについて、あなたの考えをまとめなさい。
- (2) また、完璧主義と飽きっぽさ（ものごとを投げ出す傾向）がどのようにつながっているのかについて、あなたの考えをまとめなさい。

以上の(1)と(2)を合わせて、解答用紙に計800字以内でまとめなさい。両者を区別しやすくするため、それぞれの開始部分には「(1)」と「(2)」を明記すること。

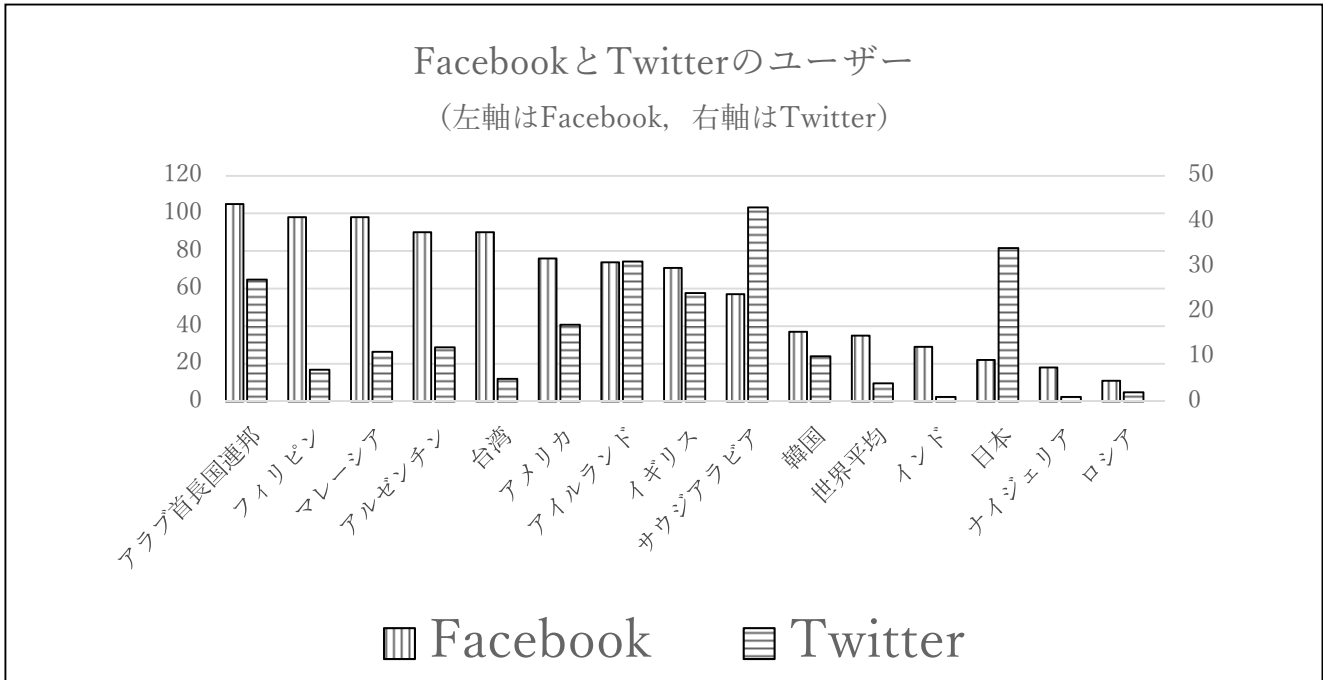
●一般選抜 D日程入試

【総合型問題（学部学科別）】（試験時間：60分）

問1 下記のア～オのカタカナを漢字に直した場合と同じ漢字を使う語を、①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、解答用紙にその数字を記入してください。

ア キ嫌	①期日	②起源	③紀元	④機械	⑤元気
イ ゲン守	①軽減	②現金	③厳禁	④祝言	⑤時限
ウ ルイ積	①類似	②盜塁	③落涙	④累計	⑤流人
エ 片スミ	①一隅	②直角	③居住	④墨汁	⑤遭遇
オ セツ辱	①接遇	②雪柳	③節介	④折紙	⑤説法

問2 下記のグラフは、13歳以上の人を利用しているソーシャル・メディアユーザーの国別比較調査から一部を抜粋したものです。グラフを見て、問（1）と（2）に答えて下さい。



(注記：グラフ左の数値はFacebook、右の数値はTwitterの利用者割合(%)を示す。旅行者や複数アカウントなども含んでいるため、人口比で100%を超える国が見られる。)

(1) 「Facebook (Twitter) において、A 国は B 国に比べて～～。」や「どちらのサービスでも、C 国はユーザーが……。」などのように、2 つ以上の国あるいはサービスを比較・考慮する形でグラフから言えることを 3 つあげてください (1 つにつき 15～39 字)。Facebook を FB, Twitter を TW と略して表記しても構いません。
なお、3 つの記述の中で、同じ国あるいは世界平均を 2 回以上使用してはいけません。

(2) Facebook は実名で投稿することが求められており、Twitter は特にそのようなルールはないなど、サービスによって利用形式や特徴に違いがあります。Facebook・Twitter の特徴と調査結果 (グラフ) 間の関係から、各国ユーザーの性格傾向や文化、あるいはインターネット上でのコミュニケーション特徴としてどんなものが考えられますか。少なくとも 2 つあげて、その合計が 160～260 字になるように記述して下さい。上記の実名制以外の特徴を論拠としても構いませんし、同じ国などを 2 回以上利用しても構いません。

なお、この問題には唯一の正解が存在して、その回答をあなたに求めているわけではありません。上のグラフから、あなたが考える各国の特徴を自分なりに考えて説得力のある表現を意識して説明して下さい。

出典：Global social media research summary 2019

(<https://www.smartinsights.com/social-media-marketing/social-media-strategy/new-global-social-media-research/>)

(参考)

Facebook の特徴：(Twitter ほどの) 文字制限は無く、文章や写真を投稿することができる。ユーザー同士でグループを作ったり、グループや個人にメッセージを送ったりできる。利用には実名で登録することが求められており、個人の発信・アピールのみならず、公的な活動やビジネス目的などで利用されることも多い。

Twitter の特徴：一つの投稿に 140 字以内という制限があり、長い文章を送ることはできなかった。名称元である「tweet」という言葉が鳥のさえずりを表すように、基本的に短文の投稿を想定していた。写真なども投稿できる他に、リツイートという他者の投稿を自分の投稿一覧に取り込む機能などもある。

●出題意図・解答例

総合型選抜 9月入試【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシー「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」に関連した出題です。中・高校時代などを振り返り、特にコミュニケーションをキーワードとして、「相手の思いを聴き取ること」と「自己の考えを伝えること、主張すること」に関して論ずることになります。

今回の設問では特に、

- ・人生の機微を味わうことについて関心を持ち、日常で出会う言葉の大切さについて、自分なりに思考を深めていく能力、自分の考えや感じたことを論理的に表現する能力などをみています。

小論文の評価は以下のような基準に基づきます。

- ・人生の機微を味わうことについて関心を持っていることが読み取れるか。
- ・伝えることや聴きとること、感じたことを言葉で表現することの難しさと言葉の大切さについて、自分なりに思考を深めていく能力が感じられるか。
- ・自分の考えを論理的に表現する能力が感じられるか。
- ・日本語の文章や小論文として適切なものになっているか（誤字脱字等の確認も含む）。

総合型選抜 10月入試【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシーの「求める学生像」にある、「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」および「3. 将来、心のケア、支援にかかわる仕事（スクールカウンセラー、医療・福祉領域における心理職など）や 職場などの対人関係にかかわる仕事を目指す人」に関する出題である。また、同じく「入学までに身につけておいてほしいこと」にある、「2. 人間や社会の様々な問題について関心を持ち、資料やデータを基に筋道を立てて考え、説明することができる」力を問う出題でもある。

心理学を学び、将来に活かすには、目の前の個人を理解することは不可欠だが、同時に個人を取り巻く社会を無視することもできない。さまざまな客観的なデータをもとに、社会にどのような問題があるか、そしてそこから個人にどのような問題が起り得るかについて、仮説を立て、そしてそれを検証する力が必要となる。

この問題では、各国で行われた若者を対象とした調査の結果を読み取り、そこから諸外国と比較した日本の若者の特徴を解釈すること、そしてそこから起り得る問題について論理的に推測し、仮説を立て、それを適切に表現する力を問う問題である。

評価は次の基準に基づく。

- 引用した調査における3つの設問への回答結果を踏まえ、他国と比較した日本の若者の特徴を読み取り、それを適切に表現できているか。
- そこから日本の若者においてどのような悩みや心の問題が生じやすいと考えられるか論理的に推測し、適切に表現できているか。
- 日本語の文章や小論文として適切なものになっているか（誤字脱字等の有無も含む）。

総合型選抜 12月入試【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシーの「求める学生像」にある「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」に関する出題である。また、同じく「入学までに身につけておいてほしいこと」内の「3. 学校でのグループ学習、課外活動やボランティア活動等の経験があり、他の人たちと協力しながら課題をやり遂げることができる。」に関連する出題である。

(1)(2)の出題意図は、文章、文脈を理解する力に加えて、論理的に思考する力を見ることにある。

(1)の「他者による自分」感覚を、(2)の問いとあわせて800字で説明するためには、“つまり、子供から大人になる途中で、「自分」は、自分が意識しているだけのものではなく、他者から認識されている（と想像する）イメージが大部分を占めるようになる。”という文を参照しながら、受験生が自らのメタ認知（論理的思考）を利用し、「自分」と「他者」との関係を説明していくことが期待される。

(2)は、さらに、創造的思考を要求している。

“他者による自分”感覚が与える、自分への良い影響、悪い影響”という出題は、自分と他者の関係を注意深く、時には批判的に振り返る創造的な思考を用いることで紡ぎ出されると考える。

なお、(1)と(2)を含み800字以内という問いであるため、(2)から書き出しても、減点はない。

評価は次の基準に基づく。

- 理解思考：出題された文章や、小論文の問いについて、理解できているか。
- 論理的思考：「他者による自分」感覚について、自分と他者の関係について、論理的に記述できているか。
- 創造的思考：「他者による自分」感覚の自分への良い影響、悪い影響について、批判を含め、創造的に記述できているか。
ここでの創造的思考については、“人間が一人一人生きていくことじたいがすごい創造活動だ”（河合、1996）を参照し、自分自身についての生き生きとした描写を念頭に置いている。
- 日本語の文章や小論文として適切なものになっているか（誤字脱字等の有無も含む）。

学校推薦型選抜（公募入試／指定校入試）【出題意図・解答例】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシーの「求める学生像」にある、「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」および「3. 将来、心のケア、支援にかかわる仕事（スクールカウンセラー、医療・福祉領域における心理職など）や 職場などの対人関係にかかわる仕事を目指す人」に関する出題である。また、同じく「入学までに身につけておいてほしいこと」にある、「2. 人間や社会の様々な問題について関心を持ち、資料やデータを基に筋道を立てて考え、説明することができる」力を問う出題でもある。

(1)の出題意図としては、文章、文脈を理解する力、またそれを表現する力を問う問題である。これらの力は大学で授業を受けて理解できる基礎学力の査定にもなる。また、(2)としては、一見、「完璧主義と飽きっぽさ」という繋がりにくいところの動きについて自分なりにその接点を論じ、それを適切に表現する力を問う問題である。特に、心理学を学ぶにあたっては、相反するところの動きについての理解が必須であり、入学までにこの動きについて興味・関心を持ち、自分なりに筋道を立てて考え、説明することができる力は、本学科の「入学までに身につけておいてほしいこと」にも合致する。

この問題では、朝日新聞の「天声人語」に投稿されたレオナルド・ダ・ヴィンチに関する文章を取り上げて、その文章中の表現を正しく理解し、論理的に自分の考えをまとめる力を問う問題である。また、一見、相反する「この動き（完璧主義と飽きっぽさ）」について論考する力を問うものであり、それらの共通点を見出し、それを適切に表現する力を問う問題である。

評価は次の基準に基づく。

- 「ずぬけた」（図抜けた）という表現やその前後の文脈から、普通より程度をはるかに超えている、並外れている完璧主義であるということをしっかり理解できているか。
- 一見、「完璧主義と飽きっぽさ」という繋がりにくいところの動きについてその接点を見つけ、自分なりの言葉で適切に表現できているか。
- 日本語の文章や小論文として適切なものになっているか（誤字脱字等の有無も含む）。

一般選抜 D日程入試【出題意図】

応用心理学部臨床心理学科のアドミッションポリシーの「求める学生像」にある「1. 自他の心の理解を深め、さらに良好な人間関係を作り出すことに興味・関心のある人」に関する。加えて「入学までに身につけておいてほしいこと」にある「2. 人間や社会の様々な問題について関心を持ち、資料やデータを基に筋道を立てて考え、説明することができる」に関する問題である。

問題 1

漢字問題。文献を理解するための、基本的な漢字に関する知識を問う問題である。

問題 2

- (1) 実際のデータやグラフから、事実を読み取り言語化・表現する能力を問う問題である。
- (2) 実際のデータやグラフから読み取った事実に基づき、その原因や関連する事象について検討・推測できる能力を問う問題である。

以上から、入学後の心理学研究などについて理解することができるかについて、総合的な能力を持っているかをテストしている。

回答例：

問題 2-(1)

- ・日本では世界平均と比べて、Twitter の利用者が多い。
- ・フィリピンでは、Twitter よりも Facebook の利用者が多い。 etc.

問題 2-(2)

- ・日本では、Facebook よりも Twitter の利用者が多い。日本では「出る杭は打たれる」という言葉があるように、他者よりも前面に出ると批判ややかみを受けることが多い。それを避けるため、Twitter がより好まれる傾向があると思われる。
- ・アメリカでは Twitter よりも Facebook の利用者が多い。アメリカでは積極的に発言し、自己主張することが重要である。そのため自身が発言したことが明示される Facebook がより好まれると思われる。 etc.